

支所001	項目名	国府地域活性化推進事業費		新規事業
予算書項目	新地域特別振興費		ページ	177
年度	R6		所 属 名	
			国府町総合支所 地域振興課	
会計名			事業の概要	
一般会計			【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652	
款	総務費		【1次総の施策体系】2403	
項	総務管理費		【事業の経過及び背景】 新地域の活性化を図ることを目的として策定された「新地域振興ビジョン」に基づき、市民と総合支所との協働事業の実施による、国府地域の活性化と振興を図る。	
目	企画費		【事業の目的及び効果】 地域住民と行政が連携しながら、環境保全や地域活性化に取り組むことで、安全で安心な住みやすいまち「万葉のふるさと こくふ」を目指す。	
(単位：千円)			【事業の内容】 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業	
前年度当初予算額	838		【事業の実績】 令和3年度 511千円 令和4年度 488千円 令和5年度 838千円	
本年度要求額	2,383			
総務部長段階査定額	469		【事業の内訳】	
市長段階査定額	469		分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0	
区分			本年度予算額	
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	469		
	計	469		
備考欄				

支所002	項目名	地域おこし協力隊事業費		新規事業
予算書項目	新地域特別振興費		ページ	177
年度	R6		所 属 名	
			国府町総合支所 地域振興課	
会計名			事業の概要	
一般会計			【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652	
款	総務費		【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略	
項	総務管理費		【事業の経過及び背景】 全国的に人口減少や高齢化が進行している中、国府地域においても過疎化や地域活力の低下が顕著になっており、移住・定住者の確保によるコミュニティの維持や新たな賑わいづくりが課題となっている。 しかしながら、国府地域には「UJIターンの支援窓口」となる団体がなく、空き家等に関する情報が集約できないなど、積極的な人材誘致ができていない状況にある。そのため、地域おこし協力隊の制度を活用した新たなUJIターン受入の窓口となる体制を本格的に構築することで、当地域への移住者の受け入れを強力に進めていく。	
目	企画費		【事業の目的及び効果】 国府地域で6次産業化やこどもの医療・福祉分野で事業を展開し、移住者雇用を強化している民間企業を中心に協議会を設立し、国府版UJIターンの支援窓口を設置する。 その協議会と地域おこし協力隊事業を連携させることにより、官民一体となったUJIターンの受入体制を新たに構築し、新たな担い手確保と持続的な地域活性化を図る。	
(単位：千円)			【事業の内容】 民間企業に地域おこし協力隊事業を一括して委託（隊員募集・雇用） 令和6年度予算 3,404千円（協力隊員1名分の人件費及び活動経費） ・国府版UJIターン支援窓口の体制の確立 ・空き家情報の集約、集落のニーズ調査の実施 ・お試し住宅の確保、移住先としての魅力づくりや情報発信 ・まちづくり活動や農業従事など幅広い支援活動の実施	
前年度当初予算額	0		【事業の実績】 過去3年間 配置なし	
本年度要求額	4,800			
総務部長段階査定額	3,404		【事業の内訳】	
市長段階査定額	3,404		分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0	
区分			本年度予算額	
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	3,404		
	計	3,404		
備考欄				

支所003	項目名	国府フィッシングフェスタ補助金		新規 事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251	所 属 名 国府町総合支所 地域振興課
年度	R6			
会計名				
一般会計				
款	商工費			
項	商工費			
目	観光費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	2,220			
本年度要求額	2,113			
総務部長段階査定額	1,995	その他財源の内訳		
市長段階査定額	1,995	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	303	
		諸収入	0	
		その他	0	
区 分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	303			
一般財源	1,692			
計	1,995			
備 考 欄				
事業の概要 【問合せ先】国府町総合支所産業建設課 0857-30-8656 【11次総の施策体系】2202 【事業の経過及び背景】 「マストリフェスタ」は、平成4年度から殿ダム建設に伴う将来の湖水並びに周辺の河川を利用したイベントとしてスタートして以来、本市内外から多数の参加者を迎え、国府地域を代表する体験型観光イベントとして定着してきた。 令和元年度からは、ニジマスを在来種のヤマメへ変更し、イベント名称を「フィッシングフェスタ」に改称して継続開催している。 【事業の目的及び効果】 本事業は、豊かな自然と殿ダムの湖水を活用したイベントによる地域の新たな賑わいづくりを目的として実施するものである。 【事業の内容】 主 催：国府フィッシングフェスタ実行委員会 時 期：令和6年5月26日（日） ※予定 場 所：袋川（国府町楠城地内） ・ヤマメつり大会 ・ヤマメ、マスのつかみどり（こども対象） ・地域各種団体による特産品の販売等 ・連携イベント（殿ダム） 【事業の実績】 令和元年度 2,376千円（参加者約1,200人） 令和2年度 44千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止） 令和3～5年度 0千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止） ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金				

支所004	項目名	万葉フェスティバル開催事業費		新規 事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287	所 属 名 国府町総合支所 地域振興課
年度	R6			
会計名				
一般会計				
款	教育費			
項	社会教育費			
目	文化振興費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	3,600			
本年度要求額	14,141			
総務部長段階査定額	6,507	その他財源の内訳		
市長段階査定額	6,507	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	300	
		その他	0	
区 分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	654			
地方債	0			
その他	300			
一般財源	5,553			
計	6,507			
備 考 欄				
事業の概要 【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652 【11次総の施策体系】2302 【事業の経過及び背景】 国府地域では、万葉歌人大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ「万葉のふるさと」としてまちづくりを推進してきた。 「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなった。 万葉集終焉から1,250年を記念した平成21年開催の「全国万葉フェスティバルin鳥取」を契機に、翌22年からは、大伴家持大賞短歌募集事業と万葉集朗唱の会をあわせて行い、本市が重要な万葉故地であることを発信するため「万葉フェスティバルin鳥取」として実施している。 【事業の目的及び効果】 万葉集や大伴家持にちなんだ短歌募集を全国規模で行うことで、万葉のふるさと鳥取市国府町を広く情報発信し、万葉をキーワードとしたまちづくりを持続的に推進する。 【事業の内容】 共催：新日本海新聞社 時期：令和6年11月3日（日） ※予定 場所：国府町コミュニティセンター 内容：短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。 小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。 大伴家持大賞30周年を記念し、記念誌刊行及び記念事業を実施する。 【事業の実績】 令和3年度 3,300千円 応募数4,487首（一般2,024首、児童生徒の部2,463首） 令和4年度 3,300千円 応募数4,037首（一般1,841首、児童生徒の部2,196首） 令和5年度 3,300千円 応募数3,730首（一般2,086首、児童生徒の部1,644首） 300千円 大伴家持大賞30周年記念事業準備委員会 ※その他財源の諸収入は、記念誌販売収入				

支所005	項目名	こくふまつり開催費	新規 事業
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	国府町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652		
款 教育費	【1次総の施策体系】2302		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 国府地域では昭和44年から「国府町文化祭」として、地域の功労者の表彰や著名人の講演会、作品展示等の多彩な内容のイベントを開催してきた。その後、わかとり国体を契機に名称を「万葉のふる里こくふまつり 国府町文化祭」とし、現在は「万葉のふる里こくふまつり」として、継続的に開催している。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 商工団体やボランティア団体等と連携したイベントを実施することで、地域の持続的な賑わいづくりと活性化を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】 主催：万葉のふる里こくふまつり実行委員会 時期：令和6年11月3日(日)(文化の日) ※予定 場所：国府町コミュニティセンター周辺 内容：こどもまつり、地域の特産物バザー		
前年度当初予算額	1,700	【事業の実績】 令和3年度 409千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業縮小) 令和4年度 465千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業縮小) 令和5年度 1,700千円	
本年度要求額	1,350		
総務部長段階査定額	1,160	【事業の内容】 主催：万葉のふる里こくふまつり実行委員会 時期：令和6年11月3日(日)(文化の日) ※予定 場所：国府町コミュニティセンター周辺 内容：こどもまつり、地域の特産物バザー	
市長段階査定額	1,160	【事業の実績】 令和3年度 409千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業縮小) 令和4年度 465千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業縮小) 令和5年度 1,700千円	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 主催：万葉のふる里こくふまつり実行委員会 時期：令和6年11月3日(日)(文化の日) ※予定 場所：国府町コミュニティセンター周辺 内容：こどもまつり、地域の特産物バザー	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 409千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業縮小) 令和4年度 465千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業縮小) 令和5年度 1,700千円	
国・県支出金	232		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	928		
計	1,160		
備考欄			

支所006	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	新規 事業
予算書項目	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	297
年度	R6	所 属 名	福部町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】福部町総合支所地域振興課 0857-30-8662		
款 教育費	【1次総の施策体系】1303、2403		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 本大会は、令和6年度で38回を迎え、山陰海岸国立公園鳥取大砂丘と全国有数の生産を誇る鳥取砂丘らっきょうを全国にPRする目的で企画している。平成28年度より実行委員会運営方式とした。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 本市の花であるらっきょうの花が咲く中、さわやかな汗を流し、体力づくりに励んでもらうとともに、山陰海岸ジオパークや「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」の素晴らしさをさらに発信していく場とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日(予定)にマラソン大会を開催する。		
前年度当初予算額	3,216	【事業の実績】 令和元年度 3,216千円 参加者1,421人 令和2～4年度 0千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止) 令和5年度 3,216千円 参加者 783人	
本年度要求額	3,216	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	3,216	【事業の内容】 らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日(予定)にマラソン大会を開催する。	
市長段階査定額	3,216	【事業の実績】 令和元年度 3,216千円 参加者1,421人 令和2～4年度 0千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止) 令和5年度 3,216千円 参加者 783人	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日(予定)にマラソン大会を開催する。	
財源内訳		【事業の実績】 令和元年度 3,216千円 参加者1,421人 令和2～4年度 0千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止) 令和5年度 3,216千円 参加者 783人	
国・県支出金	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
地方債	0		
その他	88		
一般財源	3,128		
計	3,216		
備考欄			

支所007	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業費	新規事業
予算書項目	地域特産物振興対策事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	福部町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 福部町総合支所産業建設課 0857-30-8666		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成4年度から令和元年度まで毎年開催されており、令和2年度から令和4年度は休止していたが、令和5年度に再開した。また、「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」は、平成28年3月農林水産省から地理的表示保護制度（GIマーク）に登録されている。GIマーク登録は、生産者の自信と生産基盤の強化につながっている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 らっきょう生産に一層の意欲向上を図り、さらなるブランド化の定着を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】 らっきょう生産振興大会の補助（補助率1/2、予算範囲内）		
前年度当初予算額	171	【事業の実績】 令和元年度 171千円（令和元年10月28日開催・120名参加） 令和2～4年度 0千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止） 令和5年度 171千円（令和5年10月28日開催・100名参加）	
本年度要求額	185		
総務部長段階査定額	168	その他財源の内訳	
市長段階査定額	168	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	168	繰入金	0
計	168	贈収入	0
		その他	0
備考欄			

支所008	項目名	地域プロジェクトマネージャー事業費	新規事業	○
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	177	所 属 名
年度	R6	河原町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 河原町総合支所地域振興課 0858-71-1722			
款 総務費	【1次総の施策体系】 2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 少子高齢化及び核家族化、空き家の増加が顕著に進行し、地域活動や経済活動が低迷しつつある河原地域では、地域の活性化や定住促進を図るため、さまざまなアイデアやスキルを有する有能な人材のサポートを必要としている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 有能な人材を地域プロジェクトマネージャーとして委嘱することにより、河原地域の空き家対策の推進及び「いなば西郷工芸の郷」のブランド力の向上、新たな工芸作家等の参画などにより、文化振興・移住定住促進を進め、もって地域の活性化を図り、将来にわたり安心して暮らしていけるまちづくりにつなげていく。			
(単位：千円)	【事業の内容】 地域プロジェクトマネージャー1名を配置 ・地域づくりの推進体制の構築 西郷工芸祭りをはじめとしたイベントのサポート、民藝夏季学校の誘致、SNS等を活用した地域情報の発信及び推進体制の効率化・充実を図る。 ・河原地域の空き家対策の推進 地区公民館やまちづくり協議会及び地域住民と連携を取りながら、空き家の詳細な実態を把握するとともに、地域ぐるみで空き家対策に取り組む機運を醸成し、空き家を工芸作家や移住者の住居及び店舗などに活用する仕組みづくりを構築していく。			
前年度当初予算額	0	その他財源の内訳		
本年度要求額	3,249	分担金	0	
総務部長段階査定額	3,249	負担金	0	
市長段階査定額	3,249	使用料	0	
区分	本年度予算額	手数料	0	
財源内訳		財産収入	0	
国・県支出金	0	寄付金	0	
地方債	0	繰入金	0	
その他	0	贈収入	0	
一般財源	3,249	その他	0	
計	3,249			
備考欄				

支所009	項目名	河原城イベント企画事業費	新規事業
-------	-----	--------------	------

予算書項目	観光活動費	ページ	251
-------	-------	-----	-----

所属名	河原町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	R6
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)

前年度当初予算額	1,432
----------	-------

本年度要求額	1,432
--------	-------

総務部長段階査定額	1,355	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,355	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈入金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,355		
計	1,355		

備考欄

事業の概要

【問合せ先】河原町総合支所地域振興課 0858-71-1722

【1次総の施策体系】2403

【事業の経過及び背景】
お城山展望台河原城は平成6年の設立当時から地域の拠点、シンボルとして様々な事業を展開してきたことで地域に親しまれているとともに、地域内外からの集客を図り、地域活性化の拠点となっている。

【事業の目的及び効果】
行政、地域の各種団体と協働でイベントを実施することで、河原城の魅力アップを一層図るとともに、地域の活性化及びまちおこしにつなげていく。

【事業の内容】
河原城でのイベント開催（主催：株風土資産研究会）
①春フェス
内容：お茶会及びステージイベント等
時期：令和6年5月
参加者：1,000人（予定）
②月見会
内容：バザー（ぜんざいなど）、天体観測、ステージイベント等
時期：令和6年9月
参加者：1,000人（予定）

【事業の実績】

	[春フェス(春の茶会)]	[月見会]
令和元年度	1,184人	中止(台風のため)
令和2～4年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	
令和5年度	100人	70人

支所010	項目名	あゆ祭補助金	新規事業
-------	-----	--------	------

予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
-------	-------------	-----	-----

所属名	河原町総合支所 産業建設課
-----	------------------

年度	R6
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)

前年度当初予算額	5,145
----------	-------

本年度要求額	6,000
--------	-------

総務部長段階査定額	5,145	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,145	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	570
		贈入金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	570		
一般財源	4,575		
計	5,145		

備考欄

事業の概要

【問合せ先】河原町総合支所産業建設課 0858-71-1726

【1次総の施策体系】2202

【事業の経過及び背景】
河原地域は、古くから「あゆの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「あゆの町・かわはら」を広くPRするためにあゆ祭を開催している。また、夏の風物詩として定着している。令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかったが、令和5年度は4年ぶりの開催を行い、多くの参加者があり成功裏に終わった。

【事業の目的及び効果】
地域住民と行政が連携し、大規模イベントを開催し、多くの来場者を呼び込むことにより、河原地域の魅力アップと地域及び経済の活性化を図る。また、帰省客に対しても改めて故郷の良さを再認識していただき、故郷を愛する心を醸成することにもつなげていく。

【事業の内容】
第42回あゆ祭（主催：あゆ祭企画実行委員会）
あゆのつかみ取り、鮎の塩焼き、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会等

【事業の実績】

令和元年度	補助金 5,144千円	入込客数 25,000人
令和2、4年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	
令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	
	補助金 62千円（事前準備費用）	
令和5年度	補助金 5,145千円	入込客数 20,000人

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

支所011	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	用瀬町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892		
款 総務費	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 用瀬地域においても人口減少と少子高齢化の進行により、地域の活性化や民俗文化継承の危機的状況と、増加した空き家の未活用の状況が進行している。 毎年旧暦3月3日に行われる民俗文化「流しびな」は、伝統行事としてまた「流しびなの里もちがせ」の観光資源としての魅力を有しているが、担い手不足や高齢化により、棧俵作りの技術継承等が困難になっていること、観光資源としての特性を活かしたPR活動が十分にできているとは言い難い現状にある。「流しびな」を観光資源として、技術の承継や観光客誘致を持続可能な取り組みとして積極的に推進する。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 伝統文化を資源として担い手育成による技術継承に努め、さらに観光資源としての活用資するとともに空き家の利活用等により魅力あるまちづくりを推進し、地域活性化へつなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 地域おこし協力隊1名の配置 任用期間：令和6年10月1日～令和9年9月30日(予定) 棧俵制作技術の継承、活用の企画等、空き家利活用、移住定住の推進、関係人口の増加		
前年度当初予算額	205	【事業の実績】 令和3年度 3,810千円 1名配置(令和元年10月から継続配置) 令和4年度 1,845千円 1名配置(継続配置、任期：令和4年9月まで) 令和5年度 205千円(見込) おためし地域おこし協力隊体験1名参加	
本年度要求額	2,450		
総務部長段階査定額	2,359	【事業の概要】	
市長段階査定額	2,359	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892	
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン	
財源内訳		【事業の経過及び背景】 用瀬地域においても人口減少と少子高齢化の進行により、地域の活性化や民俗文化継承の危機的状況と、増加した空き家の未活用の状況が進行している。 毎年旧暦3月3日に行われる民俗文化「流しびな」は、伝統行事としてまた「流しびなの里もちがせ」の観光資源としての魅力を有しているが、担い手不足や高齢化により、棧俵作りの技術継承等が困難になっていること、観光資源としての特性を活かしたPR活動が十分にできているとは言い難い現状にある。「流しびな」を観光資源として、技術の承継や観光客誘致を持続可能な取り組みとして積極的に推進する。	
国・県支出金	0	【事業の目的及び効果】 伝統文化を資源として担い手育成による技術継承に努め、さらに観光資源としての活用資するとともに空き家の利活用等により魅力あるまちづくりを推進し、地域活性化へつなげる。	
地方債	0	【事業の内容】 地域おこし協力隊1名の配置 任用期間：令和6年10月1日～令和9年9月30日(予定) 棧俵制作技術の継承、活用の企画等、空き家利活用、移住定住の推進、関係人口の増加	
その他	0	【事業の実績】 令和3年度 3,810千円 1名配置(令和元年10月から継続配置) 令和4年度 1,845千円 1名配置(継続配置、任期：令和4年9月まで) 令和5年度 205千円(見込) おためし地域おこし協力隊体験1名参加	
一般財源	2,359		
計	2,359		
備考欄			

支所012	項目名	ジゲおこし事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
年度	R6	所 属 名	用瀬町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892		
款 商工費	【1次総の施策体系】2201 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 「用瀬町ジゲおこし事業」は、昭和63年度から流しびなの里もちがせの地域活性化を目的に、ボランティアで構成する用瀬町ジゲおこし実行委員会が、流しびなの里のイメージを内外に広めながら、地域の観光資源を活用して実施している。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 千代川や用瀬山系等を活用したイベントを支援することにより、地域の活性化や関係人口の創出・拡大を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 用瀬町ジゲおこし事業(4事業) ①ふれあいフェスティバル(8月) ②用瀬山系トレイル交流大会(春、秋) ③川遊びフェスティバル(春、秋) ④用瀬宿横丁さんぼ市(11月) 主催団体：用瀬町ジゲおこし実行委員会 実施場所：用瀬地域内		
前年度当初予算額	1,654	【事業の実績】 [参加者数(全体)] [補助金(全体)] 令和3年度 366人 421千円 令和4年度 570人 430千円 令和5年度 2,586人 1,654千円(見込)	
本年度要求額	1,654		
総務部長段階査定額	1,654	【事業の概要】	
市長段階査定額	1,654	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892	
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】2201 ●実施計画 ●創生総合戦略	
財源内訳		【事業の経過及び背景】 「用瀬町ジゲおこし事業」は、昭和63年度から流しびなの里もちがせの地域活性化を目的に、ボランティアで構成する用瀬町ジゲおこし実行委員会が、流しびなの里のイメージを内外に広めながら、地域の観光資源を活用して実施している。	
国・県支出金	0	【事業の目的及び効果】 千代川や用瀬山系等を活用したイベントを支援することにより、地域の活性化や関係人口の創出・拡大を図る。	
地方債	0	【事業の内容】 用瀬町ジゲおこし事業(4事業) ①ふれあいフェスティバル(8月) ②用瀬山系トレイル交流大会(春、秋) ③川遊びフェスティバル(春、秋) ④用瀬宿横丁さんぼ市(11月) 主催団体：用瀬町ジゲおこし実行委員会 実施場所：用瀬地域内	
その他	0	【事業の実績】 [参加者数(全体)] [補助金(全体)] 令和3年度 366人 421千円 令和4年度 570人 430千円 令和5年度 2,586人 1,654千円(見込)	
一般財源	1,654		
計	1,654		
備考欄			

支所013	項目名	用瀬流しびな行事	新規 事業
予算書項目	観光活動費	ページ	251
年度	R6	所 属 名	用瀬町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所産業建設課 0858-71-1896		
款 商工費	【1次総の施策体系】2202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 毎年旧暦3月3日に男女一対の紙雛を棧俵に乗せ、無病息災を願って千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事。「用瀬のひな送り」は県無形民俗文化財に指定されており、また、「用瀬の流しびな」は国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択無形民俗文化財）」に選定されている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 イベントを含めた行事を実施することにより、用瀬地域の活性化と情報発信を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 もちがせ流しびな行事 主 催：流しびな実行委員会 実施日：令和6年4月11日（木） 令和7年3月31日（月） ※令和6年度は旧暦3月3日が2回 場 所：千代川河川敷（流しびなの館対岸）及びその周辺		
前年度当初予算額	2,303	【事業の実績】 令和3年度 令和3年4月14日 無観客開催 補助金 702千円 令和4年度 令和4年4月3日 イベント開催なし 補助金 914千円 令和5年度 令和5年4月22日 入込客4,000人 補助金2,303千円 ※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観光イベントは行わず、時間を指定しないかたちでの行事開催や環境整備等を実施 ※令和5年度は4年ぶりに観光イベントを含めた通常の流しびな行事を実施	
本年度要求額	4,096		
総務部長段階査定額	4,096	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	4,096	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	819	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	3,277	繰入金	0
計	4,096	贈収入	0
		その他	0
備考欄			

支所014	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金	新規 事業
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	239
年度	R6	所 属 名	佐治町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所地域振興課 0858-71-1912		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 「佐治ふるさと祭り」は昭和57年から佐治地域の秋の収穫祭として開催しており、平成27年からは、公民館祭りとして共同開催としている。また、令和元年度からは、小学校の学習発表会も合同で開催している。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 地域の産物や伝統文化を広くPRするとともに、佐治地域内の芸術文化団体の活動の成果発表の場として位置付け生涯学習の推進を図り、地域の絆をより一層深め協働のまちづくりを進める。		
(単位：千円)	【事業の内容】 佐治地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表、公民館事業の展示等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。地域の団体が構成する実行委員会が主催。佐治地域内外の多くの人の参加があり、佐治地域の秋のイベントとして定着している。 主催：佐治ふるさと祭り実行委員会		
前年度当初予算額	1,350	【事業の実績】 令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和4年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和5年度 入込客数 800人 補助金 1,350千円	
本年度要求額	1,350	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	1,350	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	1,350	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	1,066	寄付金	0
一般財源	284	繰入金	1,066
計	1,350	贈収入	0
		その他	0
備考欄			

支所015	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	佐治町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所地域振興課 0858-71-1912		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 佐治地域の宝である「佐治谷ばなし」を保存伝承するため、佐治谷ばなし紙芝居や本の作成、小中学生への伝承活動、各地区公民館への普及活動などを支援している。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 市指定無形民俗文化財「佐治谷ばなし」を保存・伝承する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 佐治民話会による保存伝承活動への支援 (補助率1/2)		
前年度当初予算額	25	【事業の実績】 令和3年度 6千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業縮小) 令和4年度 6千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業縮小) 令和5年度 6千円 (見込)	
本年度要求額	25		
総務部長段階査定額	25	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	25	分担金	0
区 分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	5	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	20	繰入金	0
計	25	贈収金	0
		その他	0
備考欄			

支所016	項目名	芸術によるまちづくり推進事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-30-8672		
款 総務費	【1次総の施策体系】2301		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域では、平成26年8月に「鳥取市新地域振興ビジョン」を策定し、「芸術のまちづくり」の取組みを進めている。		
目 企画費	令和4年度より「浜村温泉湯けむり映画塾実行委員会」が活動主体となり、映画塾やワークショップを企画・運営するとともに気高地域を舞台とした映画の撮影を行い、地域の魅力の発信や活性化に貢献している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 「芸術のまちづくり」を通して、地域の魅力発信、地域間交流、観光客や芸術家の誘致など、地域の活性化を図る。		
前年度当初予算額	1,000	【事業の内容】 浜村温泉湯けむり映画塾の開催 ①ワークショップ ②作品撮影、上映会の開催 例年3月頃に開催する浜村温泉映画祭で作品を上映するほか、CATVで放送。	
本年度要求額	1,000	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	1,000	[作 品] [事業費]	
市長段階査定額	1,000	令和3年度	連続ミニドラマ「拝啓、砂の国より」 (令和元年度作品の続編) 1,000千円
区 分	本年度予算額	令和4年度	気高町出身の作家田中古代子とその娘千鳥をモチーフとした作品「幻影～浜村天使殺人事件～」 1,000千円
財源内訳		令和5年度	平成26年度に制作した「ようこそ浜村へ」の10年後を描いた「ようこそ浜村へ、と言いたくて…」 1,000千円(見込)
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,000		
計	1,000		
備考欄			

支所017	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所 属 名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-30-8672		
款 総務費	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域においては人口減少、少子高齢化が進行しており、空き家・空き店舗など遊休不動産の増加や、温泉などの地域内資源の利活用が進まないなどの課題を抱えている。効果的な遊休不動産や地域内資源の活用、PR活動を進め、交流人口の増加による地域活性化を推進する必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 観光資源である浜村温泉を活かしたまちづくりと活気のある街並みの再生を推進するため、温泉の利活用についての検討や空き家の調査・活用を支援を目的とした「地域おこし協力隊」を委嘱し、魅力ある地域の醸成を図り、さらなる移住・定住の促進や地域活性化へつなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 既存イベントをはじめ、地域の特産品や特性を活かしたイベントの調査研究や、新たな企画立案及び事業提案を実施する。また、InstagramなどのSNSを活用した地域の行事や名所などのPR及び情報発信を行う。		
前年度当初予算額	3,678	【事業の実績】 令和3年度 おためし地域おこし協力隊(1名) 30千円 令和4年度 地域おこし協力隊1名配置(令和5年1月から) 1,174千円 令和5年度 地域おこし協力隊1名配置(継続配置) 3,678千円(見込)	
本年度要求額	4,216		
総務部長段階査定額	4,177	【事業の内訳】	
市長段階査定額	4,177	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 4,177		
	計 4,177		
備考欄			

支所018	項目名	貝がら節の郷づくり協議会補助金	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	251
年度	R6	所 属 名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-30-8672		
款 商工費	【1次総の施策体系】2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 浜村温泉街の再生を図るため、平成21年度に貝がら節の郷づくり協議会を組織し「貝がら節のふるさと」気高地域をPRする事業を実施している。平成28年度からは、他団体が実施してきた「気高ときめきまつり」を当協議会が運営し、さらなる活性化に取り組んでいる。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 「貝がら節」をキーワードに事業を展開し、気高地域への誘客を図り地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・しょうがぼかぼかフェスタ ・気高ときめきまつり ・貝がら節保存・伝承事業ほか		
前年度当初予算額	1,868	【事業の実績】	
本年度要求額	3,422	令和3年度 [ぼかぼかフェスタ] [ときめきまつり] [事業費] 令和4年度 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 53千円 令和5年度 延べ1,200人 延べ1,000人 1,868千円 R6.3.3開催 延べ2,000人 1,868千円(見込)	
総務部長段階査定額	2,213	【事業の内訳】	
市長段階査定額	2,213	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 442		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 1,771		
	計 2,213		
備考欄			

支所019	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 総務費	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鹿野地域では空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決に取り組んでいるが、移住希望者があり空き家も増加しているにも関わらず、空き家の確保が不十分でニーズに応えきれていない。 また河内地区では耕作放棄地対策として鹿野町河内果樹の里山プロジェクトを推進しており、約4.5haに計850本の果樹を植え、大学生等の協力も得て、都市との交流、果樹を利用した商品化に取り組んでいるが、後継者育成・商品開発・販売ネットワーク構築等の事業の伸展、継続にかかわる部分の補強が必要となっている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 鹿野地域の空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決・資源化に、地域おこし協力隊の新たな知恵と行動を加え地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 地域おこし協力隊を1名配置 ①空き家・空き地対策 空き家で発生する古材や古民具等を「地域活性化につながる資源」に変え、新たな魅力として地域に人を呼び込む仕組みづくり ②耕作放棄地対策 果樹の里山産物の販売ルート構築等 委託先：特定非営利活動法人いんしゅ鹿野まちづくり協議会		
前年度当初予算額	3,302	【事業の実績】 令和5年度 2,920千円 地域おこし協力隊の募集 地域おこし協力隊1名配置（令和6年1月～） 活動内容：空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決への取り組み 果樹の里山産物の販売ルート構築	
本年度要求額	4,376		
総務部長段階査定額	4,059	その他財源の内訳	
市長段階査定額	4,059	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	4,059	繰入金	0
計	4,059	贈収金	0
		その他	0
備考欄			

支所020	項目名	文化交流拠点周辺整備事業費	新規事業	○
予算書項目	文化交流拠点周辺整備事業費	ページ	177	所 属 名
年度	R6	鹿野町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682			
款 総務費	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 旧鹿野小学校跡地はコミュニティ施設として利用されていたが、平成18年から鳥の劇場が演劇公演を中心に地域と一体となった幅広い活動を展開し、本市の文化芸術の振興、国内外への発信、鹿野地域の賑わい創出などに寄与してきた。 しかし、施設の老朽化等により活動に支障をきたし、令和3年度から地域振興会議や地域住民で組織する検討委員会を立ち上げ、地域住民の拠りどころや文化芸術の振興はもとより、産業の振興交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化を目的とするため、利活用・整備計画を策定した。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 旧校舎については、NPO法人鳥の劇場が文化交流拠点として整備する。 本事業において、旧グラウンド部分を、劇場と一体的に多目的に利用できる広場や駐車スペースや通路などの環境整備を行うことで、地域一帯を、多様な人々が「出合い」、「集い」、「学び」、「つながる」交流拠点エリアとして確立していくことで、文化芸術の振興、産業の振興、交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化をめざす。			
(単位：千円)	【事業の内容】 令和6年度 敷地測量・実施設計 整備内容（予定） 駐車場、場内通路幅員、広場整備、管理資材倉庫			
前年度当初予算額	0	その他財源の内訳		
本年度要求額	9,936	分担金	0	
総務部長段階査定額	9,263	負担金	0	
市長段階査定額	9,263	使用料	0	
区分	本年度予算額	手数料	0	
財源内訳		財産収入	0	
国・県支出金	4,631	寄付金	0	
地方債	0	繰入金	0	
その他	0	贈収金	0	
一般財源	4,632	その他	0	
計	9,263			
備考欄				

支所021	項目名	わったいな祭事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
年度	R6	所属名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 商工費	【1次総の施策体系】2201 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 観光費	平成12年度から行政が主体となって実施してきた「鹿野町わったいな祭」を令和4年度から地域の活性化を目指し、民間が主体となって企画運営する補助事業として実施。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	1,939	鹿野地域の賑わい創出と交流人口の増を目的に、住民の地域づくりの意識向上と地域経済の活性化に寄与している。	
本年度要求額	1,939	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,939	秋の地元行事（鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせ）の主会場となる城下町のまちなかイベントや、特産品及び農産品等即売イベントを開催。	
市長段階査定額	1,939	・城下町並みPR事業：週末だけのまちの店（9月の土日）	
区分	本年度予算額	・農産物・特産物販売促進事業：鹿野ええもん市（5月、10月）	
財源内訳		・河内果樹の里山まつり（10月）	
国・県支出金	969	・芸能発表、作品展示（9月～10月）	
地方債	0	・来場者（見込）5,000人	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	970	令和3年度 来場者 1,564人 事業費 1,075千円	
計	1,939	令和4年度 来場者 約4,300人 事業費 1,939千円	
備考欄		令和5年度 来場者 約4,500人 事業費 1,939千円（見込）	

支所022	項目名	町民音楽祭開催費	新規事業
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	287
年度	R6	所属名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	鹿野町民音楽祭実行委員会が主体として開催する「鹿野ふるさとミュージカル」は、昭和62年にはじまり、多数住民が参画しながら継続して開催され、鹿野発の鳥取市民ミュージカルとして、またレベルの高い芸術活動として内外から認知されるようになった。		
(単位：千円)	活動着手以来38周年を迎え、令和6年度は、次世代の育成・すそ野の拡大、各種地域団体と連携し地域活性化を促進、ウィズコロナ時代に即した公演のあり方の提案を柱にして、活動の活発化を目指す。		
前年度当初予算額	3,200	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	3,200	地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。	
総務部長段階査定額	3,200	ミュージカルの制作期間は約半年間に渡り、この間に展開される広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりにおいても貢献している。	
市長段階査定額	3,200	【事業の内容】	
区分	本年度予算額	第38回鹿野ふるさとミュージカル「鹿野にはかっぱやまどりくもの糸」	
財源内訳		・時期：令和6年11月～令和7年2月（調整中）	
国・県支出金	1,600	・会場：鳥取市民会館	
地方債	0	・主催：鹿野町民音楽祭実行委員会	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	1,600	令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	
計	3,200	令和4年度 2,031千円	
備考欄		令和5年度 鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）に参加。縮小再編し制作上演。3,200千円「音楽劇さくら姫物語」会場：鳥取市民会館 入場者（見込）640人（令和6年2月開催）	

支所023	項目名	鹿野城跡公園管理費	新規 事業
予算書項目	公園管理費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	鹿野町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所産業建設課 0857-30-8686		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 戦国時代末期から栄えた鹿野城の城郭遺構が鳥取市指定史跡に指定されている鹿野城跡は、平成7年度に鹿野城跡公園として整備し、「市民の憩いの場」「観光レクリエーションの場」「歴史文化教育の場」として位置付けている。天守跡のある城山、鹿野学園として活用されている山麓の本丸や二の丸、豊かな水をたたえる内堀・外堀・薬研堀とその周囲からなる3.6haの区域面積の公園となっており、春には堀端の約500本もの桜が咲き誇り、多くの花見客が訪れる県内有数の桜の名所として知られるほか、秋には城山で紅葉の彩りも楽しむことができ市民や観光客に親しまれている。 地元住民の関心も高く、自治会、まちづくり協議会、任意団体等による除草や清掃などのボランティア活動も活発に行われている。		
目 公園管理費	【事業の目的及び効果】 鹿野城跡公園の環境整備及び適正な維持管理を行うことにより、市民及び観光客に安心・安全な憩いの場を提供し、賑わいあふれるまちづくりと生活環境の充実を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 鹿野城跡公園管理業務		
前年度当初予算額	4,116	【事業の実績】 令和3年度 3,683千円 令和4年度 4,988千円 令和5年度 4,116千円(見込)	
本年度要求額	5,700	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	5,302	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	5,302	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	346
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	346		
一般財源	4,956		
計	5,302		
備考欄			

支所024	項目名	青谷地域活性化推進事業費	新規 事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692		
款 総務費	【1次総の施策体系】2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 青谷地域は地域資源が豊富であり、青谷の自然、歴史文化などの魅力を次代に継承すべく、様々な活動に地域住民主体で取り組んでいく必要がある。そのため、個々のまちづくり団体等の活動を青谷地域全体の取組とするため、活動母体となる組織「青谷地域づくり連絡協議会」を中心として盛り上げていく。 また、青谷地域を代表する伝統工芸品「因州和紙」を市内外に発信するため、和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示・紹介するPR事業を行う。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 青谷地域づくり連絡協議会が取り組む地域振興事業に対して補助をする。 また、和紙工芸グループの協力による因州和紙の作品展示を実施する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・青谷地域づくり連絡協議会事業 ①因州和紙活用活動 ②美化活動 ③鳴り砂保全活動 ④青谷上寺地遺跡学習活動 ⑤青谷町物産販売促進活動 ⑥青谷の魅力発掘活動 ⑦観光促進活動 ・因州和紙PR事業 和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示・紹介		
前年度当初予算額	1,187	【事業の実績】 令和3年度 808千円 令和4年度 1,130千円 令和5年度 1,187千円(見込)	
本年度要求額	1,187		
総務部長段階査定額	1,187	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	1,187	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,187		
計	1,187		
備考欄			

支所025	項目名	青谷上寺地遺跡地域活用運営事業費		新規事業																				
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	177	所 属 名																				
年度	R6	青谷町総合支所 地域振興課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692																							
款	総務費	【1次総の施策体系】2403																						
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】 青谷上寺地遺跡は、全国、世界に誇る歴史的な発掘により、関係者のみならず歴史愛好家や一般観光客にも注目が高まっている。 青谷地域では、貴重な歴史遺産を活かした地域づくりを進めるべく、地元の小中学校、並びに県立青谷高等学校の学習カリキュラムに歴史学習を積極的に取り入れ、一貫した歴史学の拠点としての魅力を高めていく取組を行っている。 特に、青谷高等学校は、青谷上寺地遺跡の歴史資産を活用した新たなカリキュラムを創設し、1年次生から3年次生に至るまで、継続的に青谷上寺地遺跡を素材とした学習体制を整えるなど、近隣他県にない専門的な考古学を打ち出した学校の魅力づくりを行っている。																						
目	企画費	【事業の目的及び効果】 青谷高等学校の青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から入学した生徒に対して、就学期間中の生活を支援することにより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげる。																						
(単位：千円)		【事業の内容】 青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から青谷高等学校へ入学した生徒に対して、本市内に下宿する場合に、生活費の一部を支援する。 青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金 補助金額 10千円×12か月×2人																						
前年度当初予算額	360	【事業の実績】 令和5年度 0千円 (0人)																						
本年度要求額	360																							
総務部長段階査定額	240	【事業の内訳】																						
市長段階査定額	240	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
区分	本年度予算額																							
財源内訳	国・県支出金	0																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	240																						
	計	240																						
備考欄																								

支所026	項目名	青谷地域にぎわい創出事業補助金		新規事業																				
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251	所 属 名																				
年度	R6	青谷町総合支所 地域振興課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692																							
款	商工費	【1次総の施策体系】2403																						
項	商工費	【事業の経過及び背景】 平成28年度から、因州和紙の産地強化とまちなかの賑わいを目的とした、定期的なイベント等に取り組んでいる。																						
目	観光費	【事業の目的及び効果】 地域資源である因州和紙の魅力を発信する事業、青谷のまちなかに賑わいを取り戻す事業、青谷上寺地遺跡活用推進事業を通して、地域の魅力づくりと情報発信により地域の活性化を図る。																						
(単位：千円)		【事業の内容】 青谷地域にぎわい創出実行委員会に対する補助 ①青谷因州和紙産地強化事業 因州和紙市場開拓・情報発信事業 地域連携事業、伝統技術等の保存・継承事業 ②青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）事業 あおいち年3回、あおいちギャラリー、あおいちイルミネーション ③青谷上寺地遺跡活用推進事業 とっとり弥生の王国 青谷かみじちフェスタ、青谷かみじちスタンプラリー、青谷かみじち史跡公園オープンによるまちなかにぎわいづくりを進めるつどい																						
前年度当初予算額	2,850	【事業の実績】 令和3年度 888千円 令和4年度 1,969千円 令和5年度 2,850千円（見込）																						
本年度要求額	2,850	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																						
総務部長段階査定額	2,850	【事業の内訳】																						
市長段階査定額	2,850	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	410	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	410																							
贈収入	0																							
その他	0																							
区分	本年度予算額																							
財源内訳	国・県支出金	0																						
	地方債	0																						
	その他	410																						
	一般財源	2,440																						
	計	2,850																						
備考欄																								